

平成22年(2010年)3月期決算 現況と今後の展望



株式会社ラウンドワン

代表取締役社長 杉野 公彦

東証・大証 市場第一部

Code Number: 4680

2010年5月14日

2010年3月期 連結決算の概要

		単位	2009年3月期 年間実績	2010年3月期 年間実績	増減
店舗	全店舗数	店舗数	94	105	+11
	全店舗稼働月数	月数	1,012	1,201	+189
損益 (PL)	ボウリング	億円	283	307	+24
	アミューズメント	億円	322	334	+11
	カラオケ	億円	56	60	+3
	スポッチャ	億円	92	89	3
	その他	億円	24	29	+4
	総売上	億円	779	821	+41
	営業利益	億円	136	120	15
	経常利益	億円	97	78	19
	売上高経常利益率	%	12.6%	9.6%	3.0%
	当期純利益	億円	39	33	5

(注) 億円未満は切り捨て表示

2011年3月期 連結計画

出店と損益



Code Number: 4680

(単位未満は切り捨て表示)

		単位	2010年3月期 前期実績	2011年3月期 当期計画	増減
店舗	新規出店数	店	11	2	9
	総店舗数(期末)	店	105	107	+2
	総店舗稼働月数	月数	1,201	1,268	+67

損益	ボウリング	億円	307	328	+20
	アミューズメント	億円	334	354	+20
	カラオケ	億円	60	61	+0
	スポッチャ	億円	89	88	1
	その他	億円	29	29	0
	総売上	億円	821	860	+38
	営業利益	億円	120	140	+19
	経常利益	億円	78	90	+11
	売上高経常利益率	億円	9.6%	10.5%	+0.9%
	当期純利益	億円	33	25	8

(注)2011年3月期計画には、以下の特別損失を計上しております。

31億円 … 過年度の資産除去債務費用(当期より適用される「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号)の導入による)

10億円 … 店舗の減損損失(未決定事項ですが、金額は前期実績を考慮して計上)

4億円 … アミューズキット(基盤)の除却損失(毎期発生するものです。金額は前期実績を考慮して計上)

2011年3月期の新規出店は、「松山店」と「プエント ヒルズ モール店」(アメリカ・カリフォルニア州)の2店舗です。

なお、「プエント ヒルズ モール店」は初年度の収支を±0で見込んでいるため、損益計画には反映させておりません。

		単位	2010年3月期 前期実績	2011年3月期 当期計画
資金	当期純利益	億円	33	25
	配当金額	億円	12	17
	減価償却費(リース取引除く)	億円	94	106
	簡易キャッシュフロー	億円	141	148
	設備投資額	億円	357	80
	簡易フリーキャッシュフロー	億円	215	68
	現預金残高	億円	308	443
	有利子負債残高	億円	1,388	1,598
	実質有利子負債残高	億円	1,080	1,155

(注) 億円未満は切り捨て表示

2011年3月期の設備投資額の概算内訳

- ・約17億円 … さいたま・鴻巣店(2010年3月にオープンしましたが、支払は2010年4月となりました。)
- ・約11億円 … 2011年3月期オープン予定店舗(松山店)
- ・約7億円 … プエントヒルズモール店(アメリカ・カリフォルニア州)
- ・約45億円 … 既存店舗(アミューズメント基盤(キット)他)

店舗数・損益状況と既存店売上前年比の推移(連結)

店舗・損益の推移

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期 計画
期中出店数	11	15	11	13	11	2
期中退店数	0	0	1	2	0	0
期末店舗数	58	73	83	94	105	107

(億円未満切り捨て表示)

売上高	502億円	658億円	779億円	779億円	821億円	860億円
営業利益	127億円	179億円	182億円	136億円	120億円	140億円
経常利益	134億円	163億円	159億円	97億円	78億円	90億円
経常利益率	26.7%	24.9%	20.5%	12.6%	9.6%	10.5%
当期純利益	119億円	97億円	91億円	39億円	33億円	25億円

(注)2006年3月期は連結財務諸表を作成していないため、非連結額を記載(2007年3月期以降は連結額を記載)。

既存店売上前年比の推移

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期 計画
ボウリング	+19.4	+7.1	+1.4	6.5	4.0	+1.7%
アミューズメント	+11.5	+0.1	6.8	10.8	9.8	+0.8%
カラオケ	4.5	+4.0	1.2	7.3	13.1	5.1%
スポッチャ	-	-	16.1	9.8	9.2	4.6%
その他	11.3	9.2	+13.2	+11.4	3.9	3.7%
総売上	+11.6	+2.0	4.0	8.5	7.7	±0.0%

既存ローンの借り換えと資産等の推移(連結)

既存ローンの借り換え

	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 予定	2012年3月期 予定	2013年3月期 予定
期中借り換え額	約110億円	約128億円	約177億円	約292億円	約105億円
対応状況	全額借り換え済	全額借り換え済	既存借入先を中心に交渉中	既存借入先を中心に交渉予定	既存借入先を中心に交渉予定

(注)上記借り換え額は、当社グループ全体の金額です(連結子会社を含む)。

資産等の推移

	2007年3月期 実績	2008年3月期 実績	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 計画
総資産	1663億円	1763億円	2160億円	2512億円	2872億円
純資産	618億円	696億円	723億円	856億円	973億円
株主資本比率	37.2%	39.5%	33.5%	34.1%	33.9%
現預金残高	288億円	229億円	215億円	308億円	443億円
有利子負債残高	939億円	985億円	1179億円	1388億円	1598億円
実質有利子負債残高	651億円	755億円	963億円	1080億円	1155億円

リース債務	258億円	268億円	271億円	244億円	231億円
保証債務	31億円	409億円	419億円	318億円	93億円

(注)保証債務・・・連結子会社にて調達した開発期間中のローンに対して、ラウンドワンが連帯保証するものです。店舗のオープン等によりローンは返済され、保証債務は無くなりますが、長期ローンに切り替わる事によって、有利子負債に計上されます。

ボウリング

ネットワーク対戦ボウリング

- ・カードホルダー数 約200万人
(現状 7~8万人/月ペースで増加中)

- ・より一層の機能を充実したバージョンアップを計画中

マイボールキャンペーン

- ・キッズ用マイボール、ボールケースの充実

各種ボウリング大会



バースデーボウリング、ボウリング教室等

アミューズメント

新型機種を積極的に導入

- ・フォーチュン トリニティー (コナミ)
大型人気メダルゲーム機・・・全店舗に導入済
- ・スーパーミリオンジャックポット
ラウンドワン100店舗をネットで繋ぎ、最高で99,999枚が
当るイベント。毎日数回ランダムに開催。

メダル王 (キング)

- ・預け入れ枚数、1日獲得枚数、一定期間獲得枚数によりランキ
ング。アバターの成長や称号獲得が楽しめ、パソコンや携帯で
ランキング等を発表。

メダルポイント

- ・来店回数に応じて会員ランクがアップされる。
メンバー シルバー ゴールド プラチナ
会員ランクがアップすると、メダル購入単価が安くなる。
- ・獲得したメダルポイントは、割引クーポンへの交換が可能
ボウリング1ゲーム無料 / カラオケ20時までフリータイム /
スポッチャ3時間無料 / アミューズメントの好きなゲーム100円
1回無料等



カラオケ・スポッチャ

【カラオケ】

最新のカラオケ機種を積極導入

- ・ JOYSOUND CROSSO (エクシング)
- ・ その他のメーカーから新機種が発売された場合も積極的に導入予定

カラオケルームの改装

- ・ 夏休みまでに全ルームの7~8割を改装予定
- ・ 幅広い年齢層に合わせた明るいルームに
- ・ 完全禁煙ルームの設置

その他

- ・ ドリンクバーの充実
- ・ 音質の向上 (センターウーハーの設置)



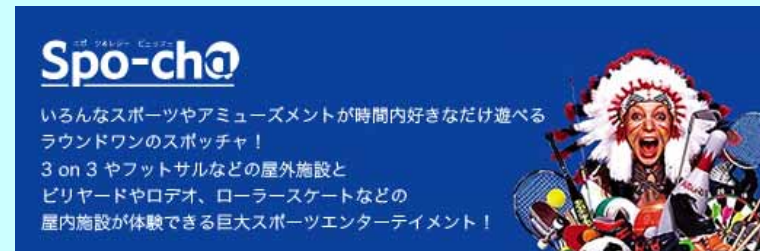
【スポッチャ】

フリープレイゲーム機器の充実

- ・ アミューズメントコーナーから順次導入

その他

- ・ ローラースケート教室
- ・ フロアリニューアル等



販売促進・広告宣伝

【販売促進】

4人以上の来場者（ボウリング・カラオケ・スナック）全員に
 人気キャラクターとのコラボストラップをプレゼント

ムーンライトストライクゲームの景品もコラボ商品へ

メール会員制度「ラウボケ」

- ・会員登録すると、各種クーポンやグッズをプレゼント
 - ・その他にも、多くの会員優遇あり
- 2010年4月末の実質登録者数 約80万人
 （現状 5万人/月 ペースで増加中）

【広告宣伝】

年間広告予算を総売上の約2.2%へ設定
 広告宣伝の中心をテレビコマーシャルへ

- ・新聞への折り込みチラシ、道路沿いの野立看板を削減
- ・ターゲット層に効果が見込める時間帯にCMをオンエア
- ・平日のゴールデンタイムや日曜のランチタイムへ集中
 （30秒CMを週15本程度）



店舗タイプ別の標準的な設備と損益

(金額単位：百万円)

	スタンダード	スタジアム
敷地面積	約3000㎡	約6000㎡
ボウリング	36レーン	38レーン
アミューズメント	208台	263台
カラオケ	18ルーム	24ルーム
スポッチャ	設置なし	2フロア
その他	ビリヤード、ダーツ、パチンコ等	飲食テナント等
ボウリング	320	300
アミューズメント	290	380
カラオケ	60	65
スポッチャ	-	200
その他(ビリヤード・ダーツ等)	40	25
総売上	710	970
リース料(設備・機器)	170	200
賃借料(家賃)	120	180
人件費	130	170
減価償却費(内装等、リース資産の償却は含まず)	50	65
その他費用	160	285
総費用	630	900
経常利益	80	70
経常利益率	11.3%	7.2%
純利益(経常利益の58%)	48	42
キャッシュ・フロー(純利益+減価償却費)	98	107
初期投資額	1,200	2,500
ROIC(キャッシュ・フロー÷設備投資額)	8.2%	4.3%

【リース料の自動低減】

当社ではボウリングレーン、アミューズメント機器、カラオケ設備等をリース契約しております。
 これらのリース期間は、約3年(ボウリングのみ7年)で、期間経過後の再リース料は、約12分の1に低減されます。
 期間中の新機種導入等に伴う追加契約を考慮しても、4年目以降のリース料は、下記のように大幅に減少し、結果として利益が増加します。

<リース料>

スタンダード 1.7億円 **0.9億円**
 スタジアム 2.0億円 **1.0億円**

<経常利益>

スタンダード 0.8億円 **1.6億円**
 スタジアム 0.7億円 **1.7億円**

オープンから3年が経過すると自動的に利益額が増加します

2011年3月の計画店舗

オープン時期	店舗名	店舗タイプ
7月中旬オープン予定	松山店	スタンダード・ロードサイド
8月中旬～下旬オープン予定	プエンテ ヒルズ モール店 (アメリカ カリフォルニア州)	スタンダード・ロードサイド

「プエンテ ヒルズ モール店」は、ロスアンゼルス中心街より東へ約45kmの地点に立地しており、主要高速道路である60号線に面しているショッピングモール内の店舗です。

2012年3月期以降の計画店舗

出店予定地域	店舗タイプ
難波(千日前)	スタンダード・繁華街
池袋	スタンダード・繁華街
梅田	スタンダード・繁華街

【繁華街店舗への出店資金】

当該物件の土地・建物を担保とした金融機関からの借入
 社債の起債
 エクイティファイナンスを含む様々な調達方法
 の順に優先予定
 (注) 出店を中止した場合、キャピタルロスまたは違約金が発生する可能性があります。

(注) ・オープン時期及び店舗名は、諸事情により変更される場合があります。

- ・2012年3月期以降の計画店舗については、予告なしに出店を中止する可能性があります。
- ・上記以外への新規出店は原則として凍結し、財務体質の強化を図りますが、デベロッパー側にて内装を含めた初期投資額の大部分を負担頂ける場合は、首都圏の大型ショッピングモール内に限り出店する可能性があります。

2011年3月期 全社売上計画と既存店前年比計画

全社売上計画

(単位未満は切り捨て表示)

	第1Q	第2Q	第1Q-第2Q	第3Q	第4Q	第3Q-第4Q	通期
ボウリング	77.6億円	83.1億円	160.8億円	73.3億円	93.8億円	167.2億円	328.0億円
アミューズメント	85.0億円	91.4億円	176.5億円	87.6億円	89.8億円	177.5億円	354.0億円
カラオケ	14.8億円	15.5億円	30.4億円	14.6億円	15.9億円	30.6億円	61.0億円
スポッチャ	21.8億円	24.5億円	46.4億円	17.1億円	24.4億円	41.6億円	88.0億円
その他	7.2億円	7.6億円	14.9億円	6.6億円	7.4億円	14.1億円	29.0億円
総売上	206.6億円	222.3億円	429.0億円	199.3億円	231.6億円	431.0億円	860.0億円

既存店前年比

	第1Q	第2Q	第1Q-第2Q	第3Q	第4Q	第3Q-第4Q	通期
ボウリング	0.4%	+0.2%	0.1%	+3.7%	+3.2%	+3.4%	+1.7%
アミューズメント	1.8%	1.8%	1.8%	+3.4%	+3.3%	+3.3%	+0.8%
カラオケ	8.6%	7.8%	8.2%	2.6%	1.5%	2.0%	5.1%
スポッチャ	7.2%	7.1%	7.2%	2.3%	1.3%	1.7%	4.6%
その他	8.1%	3.9%	6.0%	2.1%	0.3%	1.2%	3.7%
総売上	2.7%	2.2%	2.4%	+2.3%	+2.3%	+2.3%	±0.0%

店舗の状況 (2010年4月末現在)



出店数の推移

	出店数	退店数	期末 総店舗数	期末総店舗数の内訳			
				スタンダード		スタジアム	
				繁華街	ロードサイド	繁華街	ロードサイド
～2004年3月期	45	4	41	7	34	-	-
2005年3月期	6	0	47	8	34	-	5
2006年3月期	11	0	58	8	34	-	16
2007年3月期	15	0	73	8	34	-	31
2008年3月期	11	1	83	8	34	-	41
2009年3月期	13	2	94	7	45	-	42
2010年3月期	11	0	105	7	55	-	43

2008年3月期に退店した「富士店」は、翌2009年3月期に同じ場所に完全に建て替えたのちに、リニューアルオープンしております。

エリア別店舗数

出店エリア	北海道・東北	北陸・甲信越	関東	中部・東海	関西	中国・四国	九州・沖縄	合計
店舗数	10	4	31	13	29	7	11	105
シェア	9.5%	3.8%	29.5%	12.4%	27.6%	6.7%	10.5%	100.0%

各種お知らせとIRに関するお問い合わせ先

本資料取扱上のご注意

本資料は投資の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料により被った全ての損害について、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません。なお、本資料は作成日現在の情報をベースにしており、その作成には細心の注意を払っておりますが、その内容についてその実現を保証するものではなく、万が一内容に誤りがあった場合においても、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません（万が一、数値等に誤りを発見した場合には、ホームページ上にて訂正させていただきます）。
本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社ラウンドワンに帰属しており、いかなる目的であれ無断で複製又は転送等を行わないようにお願いします。

IR方針(サイレンス期間)について

弊社では、投資家の皆様への公平を期するため、原則として決算発表（四半期決算を含む）の約2週間前よりIRに関する取材をご遠慮頂いております。ただし、事業に関する基本的な内容、過去に発表済の内容、及び現在進行中のイベントや企画に関するお問い合わせや取材等はお受けいたします。以上、皆様のご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。

ホームページへのアクセス先

【PC用ホームページ】

<http://www.round1.co.jp> もしくは

【携帯用ホームページ】（お客様用/IR情報等なし）

- ・ docomo <http://www.round1.co.jp/mobile/>
- ・ Soft Bank <http://www.round1.co.jp/mobile/>
- ・ au <http://www.round1.co.jp/mobile/>



携帯電話からの携帯用ホームページへの接続料や通信料(パケット料)はお客様のご負担となりますので、ご注意願います。一部の機種では、モバイルサイトをご覧いただけない場合がございます。

お問い合わせ先：株式会社ラウンドワン 管理本部 (072)224-5115